

リトルリーグ東北連盟
大会運営マニュアル



**Little
League**

宮城県リトルリーグ野球協会
2022年6月5日

*役員、理事の心得

- 1 役員、理事の服装は所定のもを着用し（上下白色-夏季は黒色短パン可）
ネームプレートを定められた位置に着けること
- 2 役員、理事は大会期間中 事務局会議（理事会）に出席し、連絡事項等について話し合いの時間を設けること
- 3 役員、理事は大会期間中、所定の位置（本部席）に着き、競技運営等がスムーズに行われるよう指示、サポートすること

■必要資料（下記の項目よりデータのダウンロードが可能です）

- [『アナウンスマニュアル（共通）』](#)
- [『宮城県協会 アナウンスマニュアル 完成版』](#)
- [『スコアシート（共通）』](#)
- [『全員出場チェックシート（全日本選手権）』](#)
- [『投球数チェックシート（全日本選手権）』](#)
- [『投球数記録シート（全日本選手権）』](#)
- [『東北連盟：投手／捕手記録シート』](#)
- [『イニング表（共通）』](#)

【大会別担当表】

宮城県協会

-トーナメントディレクター-

大会名	令和元年 2019年	令和2年 2020年	令和3年 2021年	令和4年 2022年
仙台放送杯	仙台港 泉	仙台広瀬 仙台港	宮城野 仙台広瀬	*東日本選手権
全日本選手権 (IM)			宮城利府 仙台青葉	
全日本選手権 (メジャー)	仙台東			
MLBCUP	仙台 仙台港	仙台 仙台青葉	仙台青葉 宮城利府	仙台青葉 宮城利府
東日本選手権	宮城利府 宮城野	宮城野 仙台東	仙台東 宮城野	仙台東 仙台黒松 *仙台放送杯
ミスノカップ	仙台黒松 仙台広瀬	仙台黒松 仙台	仙台黒松 仙台青葉	仙台黒松 仙台青葉
全国選抜	塩釜 仙台広瀬 *6・5年生大会	宮城利府 塩釜		

大会名	令和5年 2023年	令和6年 2024年	令和7年 2025年	令和8年 2026年
宮城リーグ 春季大会				
仙台放送杯				
全日本選手権 (IM)				
全日本選手権 (メジャー)				
全国選抜				
MLBCUP				
ミスノカップ				

【大会準備-大会開催までの流れ-】

	項 目	担 当 者
【事 前 準 備】		
1	大会期日・グラウンド の決定	理事会にて確定
2	大会要項、組合せ作成（事務局長要確認）	TD
3	選手登録受付（遅くとも抽選日前日までに提出必須）	事務局長へ提出
4	試合形式の決定（登録チーム数によってトーナメントorリーグ戦）	理事会にて確定
5	組合せ抽選	理事会にて確定
6	パンフレットの作成、配信	TD・事務局長
7	トロフィー（又は盾）、メダル、賞状の手配 -大会によってはレプリカの手配有-	運営委員 ・TD
8	試合球・ロジンの手配	TD
9	本部スコア・全員出場チェック(全日本選手権のみ)・球数チェック ・イニング表・ピッチャー管理表 の準備	TD
10	県協会審判用飲料等の準備	本部主管女性部
【当 日】		
11	グラウンド設営	主管
12	本部席・審判席設営	主管
13	理事会 ☆役員・審判・理事（・監督）	
14	開会式準備 ☆アナウンス 来賓名・役員名等の確認 長机(白布で覆う)に優勝(準優勝・3位)トロフィー(又は盾)・又は優勝旗 準備	主管
15	開会式 ☆開会式放送マニュアル別紙参照 ホームベース後方:来賓・役員・理事 1塁側:審判 3塁側:指導部 に整列 ライト後方より 先導:県協会理事の後に選手入場(団旗・プラカード) ☆先導者（担当TD）はジャケット着用 ☆入場サポート員必要	主管
試 合 進 行 *		
16	閉会式準備 ☆アナウンス 来賓名・役員名・順位等確認 長机(白布で覆う)に優勝(準優勝・3位)トロフィー(又は盾)・又は優勝旗 賞状（お盆）・メダル（お盆） ☆白服女性部表彰サポート	主管
17	閉会式 ☆閉会式放送マニュアル別紙参照	主管
18	グラウンド・本部席・審判席 撤収	主管
19	理事会 ☆役員・審判・理事（・監督）	

試 合 進 行 *

	項 目	担 当 者
1	朝の理事会にて 大会進行等確認・共有 1試合目のメンバー表交換時間・ベンチ入り時間の確認	
2	メンバー表交換 ☆キャプテン・審判・チーム理事・本部役員	
3	ボールボーイ・得点版・BSO・ホームラン確認員 の配置	対戦チーム
4	審判員 給水クーラー設置（天候によって冷・温確認）	主管
5	審判員の確認	主管
6	本部席スコアラー・投球数・アナウンス 準備 全日本選手権大会は 全員出場チェック も必要 速報入力・イニング表作成 スコア・速報入力・イニング表は記録内容を統一	主管 TD・対戦チーム
7	3回終了時(連戦の場合は試合終了後)次の試合のメンバー表交換 ☆キャプテン・審判・チーム理事・本部役員	
8	試合終了後 スコアラーが投球数記録シートを作成（鉛筆不可） →各チーム理事に渡す 投球記録シートは2試合目以降はメンバー表交換時に理事が持参し、 審判と共に確認する	主管
9	次の試合のメンバー表交換時間・ベンチ入り時間の確認	TD
10	次の試合のメンバー表交換時間・ベンチ入り時間のアナウンス	主管
	- 繰 り 返 し -	

★ 女性部本部運営マニュアル

2022年3月

- ☆ 服装は上下白色で統一(上衣は県協会の白ポロシャツ)→リトルマーク確認
開会式・閉会式のグラウンド担当は 白帽子を着用する
防寒着は指定なし
*アナウンスの服装はチームTシャツ又は白ポロシャツ(県協会)、長ズボン
帽子はチーム帽又は白帽子(かぶらなくても可)
- ☆ 本部席では 全員マスク着用すること
- ☆ 準備物：審判用テント・イス・テーブル・ブルーシート・クーラーボックス(大・小5),
氷,ボール拭きタオル,ごみ袋
(本部テント・イス・テーブル,音響,スコアボード,ベース,ラインカー,石灰等)
- ☆ 本部席 お茶出し・飲み物準備は一切なしとする。
*役員・理事は各自飲み物等を持参する
- ☆ 県協会審判については 1人につき 500mlペットボトル お茶1本・スポドリ2本
を準備する
- ☆ 本部主管運営予算 ¥2,000/1日(審判用飲み物・塩飴・OS1等)
- ☆ 審判用クーラーボックス(大)に飲み物(蓋に記名してあげてください)・弁当を
準備する
*おしぼりは各自 持参(→念のため、使い捨ておしぼりを県協会準備)
- ☆ 試合中の給水用のクーラーボックス(小)を準備する グラウンドサイドに配置
- ☆ 大会本部は スコアラー1名・球数カウント1名(+全員出場チェック1名)
*各チームアナウンスは1名ずつ(球数は本部スコアラーと本部球数カウント
で対応)
*マイクは1人1本使用し、使いまわしはしないこと
- ☆ 1試合終了ごとに 本部席・本部席備品・審判クーラーBOXをアルコール消毒
する(→アルコールは県協会準備)
*両ベンチは各チームでアルコール消毒する
- ☆ 各大会の要項・規則等を事前に確認しておくこと
- ☆ 時間制限のある試合で、アクシデントが発生し試合が止まった時は時計を止め
試合が再開したら時計を進める
- ☆ 本部に入ったら外からの問いかけに応じない
*例) 試合開始時刻や投球数等
- ☆ 本部席では応援や歓声をあげないようにする
- ☆ 試合終了後、選手が挨拶に来たら立ち上がって拍手する
- ☆ 看護師の手配が出来ない場合、父兄で対応出来ない事例はすみやかに
救急車を呼ぶ等の対応をお願いします

○ルールの注意事項

【ピッチャーの投球数】

○ルールの注意事項

ピッチャーの投球数・基準投球数

- ・そのバッターの1球目。
- ・登板ピッチャーが最後に投げた投球数で、そのバッターの1球目をカウントする。
- ・試合で累積投球数が20球以下の場合、基準投球数は適応されない。（実投球数がカウントされる）

例)

①最後のバッターに対し19球～25球を投げた後に交代になった時、そのピッチャーの基準投球数は19球となり次の試合に続けて投げることが出来る、次の試合で差登板した場合は26球目からのカウントで始まる。

※大会毎に決まりがあるため確認が必要になる。

②最後のバッターに対し20球目を投げた後に交代になった場合、そのピッチャーの投球数は20球になり、次の試合に続けて投げることが出来る。その場合21球目からのカウントで始まり最大投球数まで投球できる。基準投球数は適応されない。

○留意事項

- ・全日本選手権ルールではその日の投球数が20球以下であっても、1球以上投球した場合投手としてその日は再登板できない
但し翌日は休息日を得ずに投球数はリセットされ投球できる（選手権ルール：休息日の適用）
全日本選手権インターメディアット部門に関しては、一度降板した投手が1回だけ投手に戻ることができる
（投球制限数内の場合に限る）
 - ・全国選抜ルールにおいては、20球以内の場合、同日再登板される場合の投球数は累積でカウントする
また同日20球以内の投球の場合、翌日は投球数がリセットされ投球することができる
21球以上投球した場合は1試合空ければ投球ができる。
- ※ローカル大会においては個別に確認ください

【全日本選手権 特別ルール】

リ・エントリーの選手は同じ打席に入る。（例え守備が代わっても）

「スペシャルピンチランナー」

・イニングに1回、1試合に2回に限り攻撃側選手に対してその時点で打撃順に加わっていない選手を使用してスペシャルピンチランナーを起用することができる。スペシャルピンチランナーは1人の選手に対し1回のみ使用できる。スペシャルピンチランナーに交代された選手はラインナップから外れるわけではない。スペシャルピンチランナーがそのまま残った場合は選手交代したものとみなされ、打撃順に入っている間はスペシャルピンチランナーとして起用することはできない。しかしながら、その選手がさらに他の選手と交代した場合や、その他の打撃順に入っていない選手は再度スペシャルピンチランナーに起用することができる。

「全員出場の規則」

- ・試合当日ベンチ入りした選手は全員試合に出場しなければならない。
- ・13名以上の選手が試合に参加している場合、当日の名簿上の全選手が攻撃に おいて少なくとも1打席は試合に参加しなければならない。
- ・12名以下の選手で試合に参加している場合は、当日の名簿上の全選手が、守備 において最低6つの連続したアウトと、攻撃において少なくとも1打席は試合に参加しなければならない。
- ・代打で出場した選手が打席後に出塁した場合、その選手がアウトになるか得点するかイニングまたはゲームが終了するまで出場し続けなければならない。

※13名以上の選手が試合に参加している場合の先発意外の選手にのみ該当する。

「その他」

・臨時代走(ピンチランナー)はバッターの1つ前の選手が入るが、その選手がバッテリー の場合はその前の選手になる。

(例) 7番サード A 君、8番キャッチャーB 君、9番ピッチャーC 君、1番センターD 君 の時、1番の D 君が頭部へのデットボール。ピンチランナーは8、9番がバッテリーの為、7番 A 君となる。)

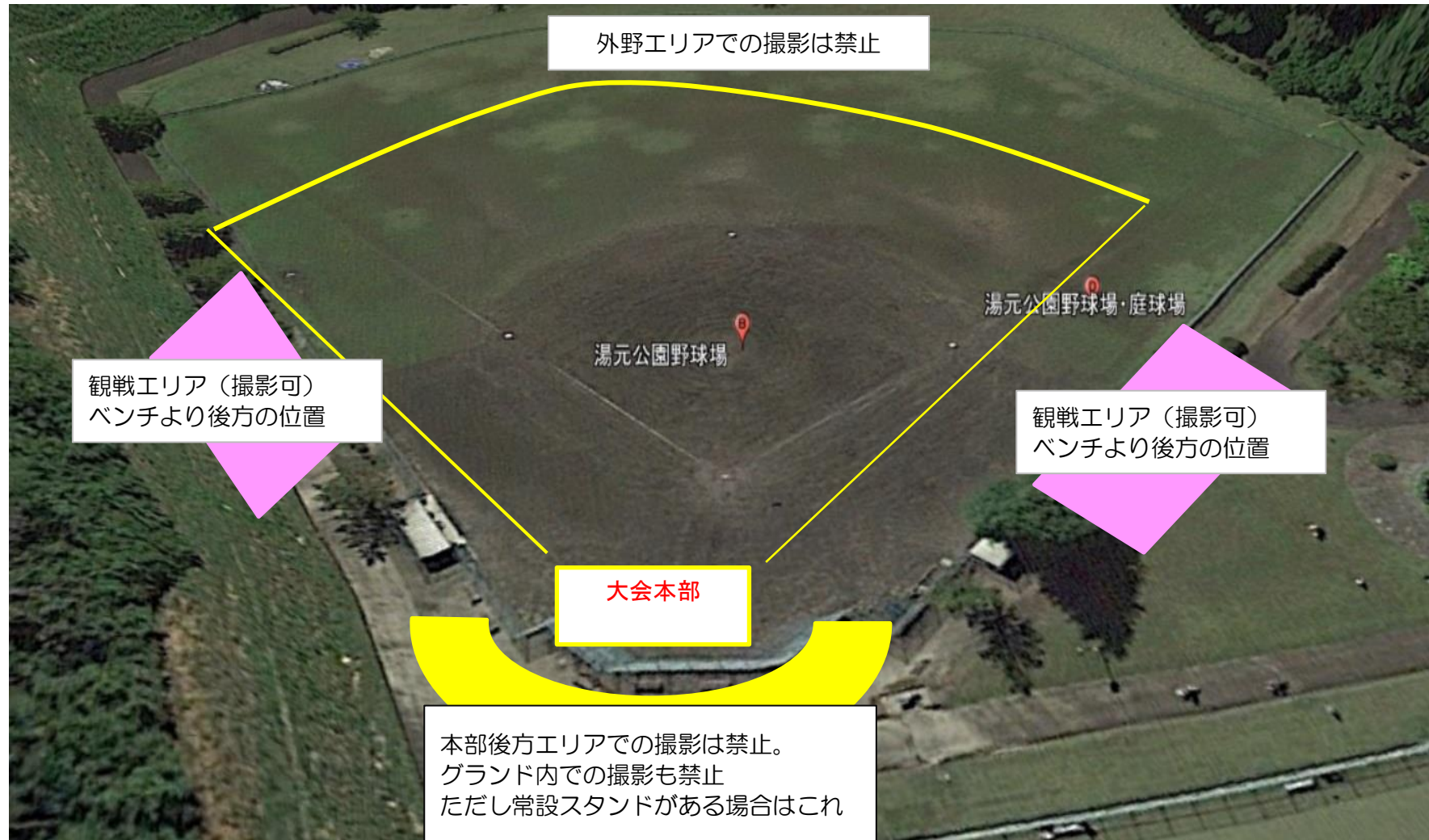
【故意四球】

・投球前でも投球後でも守備側チームから球審に対し打者に“申告敬遠”を与えることが伝えられた場合故意四球となる

投手の投球数は、監督が故意四球を通知した時の打者が、故意四球を完了するのに必要なカウントに基づき、投球数が与えられる。

(例) 2ストライク3ボールから申告敬遠の場合、投手の投球数には「1球」が加えられる。

■大会における写真等の撮影、グラウンド内入場に関して



- 試合中大会本部及びグラウンドに入場できるのは選手、登録の指導者、大会役員、審判、主管スタッフ、当該チーム保護者（アナウンス等）県協会理事、来賓。（ボールボーイ、得点板保護者も可）
- 試合中の応援はベンチより後方のエリアとし撮影も可とする
- グラウンドでの撮影については、応援エリアのみとする。ただし常設スタンドがある場合は該当しない。